

日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本小児神経学会
理事長 岡 明

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。
 - a. 特に学術的に重要と考えられるもの
 - ・本学会の機関誌「脳と発達」を隔月発行するとともに、学会公式英文機関誌として「Brain & Development」を年間10回発行している。
 - ・年1回の本学会の学術集会とともに、全国の9つの地方会で学術集会を開催し、小児神経診療および研究レベルの向上を図っている。
 - ・小児神経疾患の多施設共同研究を支援している。
 - b. 当該領域における国際的な役割
 - ・英文誌 Brain & Development は小児神経学領域で高い評価を受けている。
 - ・アフリカ等海外の小児神経科医育成のため、講演会による教育支援、および経済的支援を行っている。
 - c. 活動からもたらされる社会的な意義
 - ・研究活動の支援による、多様な小児神経疾患の診断・治療法開発。
 - ・政策提言等を通じた、発達上の問題・多様な障害をもつ子ども達とその保護者・家族が暮らしやすい地域社会の実現。
 - ・小児神経疾患の診療ガイドライン作成による、医療の質向上と均霑化。
 - d. 学会運営上留意している点
 - ・質の高い小児神経専門医の育成のための教育を推進することと、専門医制度を充実させること。
 - ・会員のニーズをくみ上げ、自主的な活動を促進すること。
- II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。
 - ・日本小児科学会や日本てんかん学会などと協働し、医療安全に関する提言・指針の策定、啓発を図っている。
 - ・日本小児科学会などと連携し、小児慢性特定疾病や指定難病についての検討を行い、政策などに対し提言している。
 - ・日本神経学会と連携し、小児期から成人期への移行期医療への対応を検討し、啓発や政策

提言を目指している。